



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成30年1月31日

上場会社名 株式会社 J A L U X

上場取引所 東

コード番号 2729 URL <http://www.jalux.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 込山 雅弘

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 森泉 洋介

TEL 03-6367-8822

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	117,635	8.8	3,611	19.3	3,947	23.1	2,240	16.6
29年3月期第3四半期	108,113	2.9	3,028	△3.3	3,205	△1.7	1,921	11.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,538百万円 (46.1%) 29年3月期第3四半期 1,737百万円 (△7.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	177.19	-
29年3月期第3四半期	151.96	151.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	50,290	23,171	43.0
29年3月期	43,934	21,445	45.6

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 21,624百万円 29年3月期 20,025百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	0.00	-	50.00	50.00
30年3月期	-	0.00	-	-	-
30年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,000	8.2	4,400	8.5	4,600	8.9	2,700	5.0	213.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無  
新規 ー 社 (社名) 、 除外 ー 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、【添付資料】P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	12,775,000株	29年3月期	12,775,000株
30年3月期3Q	131,298株	29年3月期	131,248株
30年3月期3Q	12,643,729株	29年3月期3Q	12,642,239株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる事項については、【添付資料】P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用環境の改善や訪日外国人数の増加などによる消費の持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外情勢の不確実性など先行き不透明な状況が続いています。

このような環境の下、当社グループの事業概況は、以下のとおりとなりました。

売上高は、主に航空機エンジン部品販売、空港店舗及び免税事業、不動産事業の増収などにより、前年同期比9,521百万円増の117,635百万円(108.8%)となりました。売上総利益は、売上高の増加などにより、前年同期比1,325百万円増の18,724百万円(107.6%)となりました。

販売費及び一般管理費は、空港店舗・免税店舗の売上増に伴う歩合家賃の増加及び事業拡大に伴う人員増による人件費の増加などにより、前年同期比742百万円増となりました。

営業外収益・営業外費用は、持分法による投資利益などが増加しました。

特別利益・特別損失は、農産事業において固定資産減損損失などが発生しました。

これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比319百万円増の2,240百万円(116.6%)となりました。

連結業績 (金額単位：百万円)	前第3四半期 (平成28年4～12月)	当第3四半期 (平成29年4～12月)	前年同期比(%)	前年同期差
売上高	108,113	117,635	108.8%	9,521
売上総利益	17,398	18,724	107.6%	1,325
営業利益	3,028	3,611	119.3%	583
経常利益	3,205	3,947	123.1%	741
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,921	2,240	116.6%	319

## [セグメントの概況]

セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。各業績数値は、セグメント間の内部売上高及び振替高、配賦不能営業費用(管理部門の費用等)調整前の金額です。

なお、第1四半期連結会計期間より、組織変更等に伴い、前連結会計年度まで「航空・空港関連事業」に分類していた印刷・用紙及び一部特殊車両・設備資材関連を「ライフサービス事業」に、「フーズ・ビバレッジ事業」に分類していた贈答用食品販売を「リテール事業」に移管しました。また、報告セグメントに帰属していなかった前連結会計年度新設部署(事業本部企画室等)を各報告セグメントに移管しています。以上のセグメント変更に伴い、各報告セグメントの前第3四半期連結累計期間の数値を当第3四半期連結累計期間の表示に合わせて組替再表示しています。

## ① 航空・空港関連事業

当セグメントでは、主に航空機関連での航空機や航空機部品(エンジン部品等を含む)、機材関連での特殊車両や整備用機材などの販売を行っています。

航空・空港関連は、主力である重工業向け航空機エンジン部品や産業用ガスタービン部品などの販売が増加したことにより増収となりましたが、一方で事業拡大を目的とする人員増及びシステム投資に伴う費用が発生しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高44,311百万円、営業利益555百万円となり、前年同期比、増収・減益となりました。

航空・空港関連事業 (金額単位：百万円)	前第3四半期 (平成28年4～12月)	当第3四半期 (平成29年4～12月)	前年同期比(%)	前年同期差
売上高	39,532	44,311	112.1%	4,779
営業利益	610	555	91.1%	△54

## ② ライフサービス事業

当セグメントでは、主に不動産関連での不動産販売・分譲・仲介・賃貸、施設管理、介護関連施設賃貸・運営の事業、保険関連での損害・生命保険の保険代理店業、環境関連での道路補修材などの販売を行っています。

不動産関連は、国内不動産販売の増加により、増収増益となりました。海外（タイ王国）におけるサービス付アパートメントは2017年4月に開業し、増収となりました。保険関連は、法人向け保険の拡大などにより、増収増益となりました。環境関連の道路補修材「AQUA PATCH（アクアパッチ）」\*は増収となりましたが、販売体制強化に伴う費用などが発生しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高10,348百万円、営業利益875百万円となり、前年同期比、増収・増益となりました。

\*AQUA PATCH：水をかけるだけで素早く硬化する特徴をもつ道路補修材

ライフサービス事業 (金額単位：百万円)	前第3四半期 (平成28年4～12月)	当第3四半期 (平成29年4～12月)	前年同期比 (%)	前年同期差
売上高	9,132	10,348	113.3%	1,215
営業利益	702	875	124.6%	172

## ③ リテール事業

当セグメントでは、主に空港店舗事業、空港免税店舗事業、免税店舗向け卸販売、通信販売、贈答用食品販売、外食業などを行っています。

株式会社JALUXエアポートが運営する空港店舗「BLUE SKY」は、航空旅客数の増加などにより、増収増益となりました。国内空港免税店舗（成田・羽田空港）の運営及び免税店舗向け卸販売は、訪日外国人数の増加などにより、増収増益となりました。また、海外空港免税店舗（ベトナム社会主義共和国 ハノイ・ダナン国際空港）は計5店舗を展開し、増収増益となりました。通信販売は、季節商品の販売増加やインターネット通販を強化したことにより、増収増益となりました。贈答用食品販売は、百貨店向けなどの販売が減少したことにより、減収減益となりました。外食業は、前期に開業したフレンチレストランが増収となりました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高44,590百万円、営業利益2,711百万円となり、前年同期比、増収・増益となりました。

リテール事業 (金額単位：百万円)	前第3四半期 (平成28年4～12月)	当第3四半期 (平成29年4～12月)	前年同期比 (%)	前年同期差
売上高	40,217	44,590	110.9%	4,373
営業利益	1,981	2,711	136.8%	729

## ④ フーズ・ビバレッジ事業

当セグメントでは、主に水産物、農産物、ワイン、加工食品などの販売を行っています。

水産物は、サバなどの販売が減少したことにより、減収減益となりました。農産物は、天候不順などが影響し、減収減益となりました。ワイン及び加工食品では、ブランド力のあるワインを中心としたホテル・レストラン向け業務用卸販売や、弁当類及び当社オリジナル菓子類の公共交通施設向け卸販売などが増加しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高19,291百万円、営業利益752百万円となり、前年同期比、減収・減益となりました。

フーズ・ビバレッジ事業 (金額単位：百万円)	前第3四半期 (平成28年4～12月)	当第3四半期 (平成29年4～12月)	前年同期比 (%)	前年同期差
売上高	20,033	19,291	96.3%	△742
営業利益	968	752	77.7%	△216

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産は年末商戦需要による百貨店向け歳暮用食品や、免税店舗向け卸販売の増加により売掛金が増加した結果、前連結会計年度末と比較して6,355百万円増加し、50,290百万円になりました。

(負債)

負債は年末商戦需要に伴う仕入の増加により買掛金が増加した結果、前連結会計年度末と比較して4,629百万円増加し、27,118百万円になりました。

(純資産)

為替の変動により為替換算調整勘定は減少しました。一方で、利益剰余金は配当により減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により増加しました。

その結果、純資産は前連結会計年度末と比較して1,726百万円増加し、23,171百万円になりました。また、自己資本比率は2.6ポイント減少し、43.0%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において通期の業績予想の変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	6,258,404	6,109,481
受取手形及び売掛金	13,604,220	18,152,855
たな卸資産	11,071,622	11,735,338
その他	4,050,505	4,821,598
貸倒引当金	△27,039	△25,318
流動資産合計	34,957,714	40,793,955
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	4,215,411	4,315,719
無形固定資産	399,797	392,811
投資その他の資産		
その他	4,387,929	4,811,790
貸倒引当金	△25,936	△23,650
投資その他の資産合計	4,361,993	4,788,139
固定資産合計	8,977,202	9,496,670
資産合計	43,934,917	50,290,626
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	9,746,049	14,217,494
短期借入金	3,503,153	3,078,375
未払法人税等	745,123	506,609
未払費用	3,011,991	3,816,576
その他	2,493,668	2,907,411
流動負債合計	19,499,985	24,526,467
<b>固定負債</b>		
長期借入金	2,159,701	1,668,306
退職給付に係る負債	35,429	34,274
その他	794,606	889,919
固定負債合計	2,989,737	2,592,500
負債合計	22,489,722	27,118,967
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	2,558,550	2,558,550
資本剰余金	688,723	688,723
利益剰余金	17,130,525	18,738,330
自己株式	△134,674	△134,809
株主資本合計	20,243,124	21,850,794
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	3,314	63,624
繰延ヘッジ損益	22,908	13,102
為替換算調整勘定	△183,270	△253,466
退職給付に係る調整累計額	△60,886	△49,193
その他の包括利益累計額合計	△217,933	△225,933
非支配株主持分	1,420,003	1,546,797
純資産合計	21,445,194	23,171,658
負債純資産合計	43,934,917	50,290,626

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	108,113,640	117,635,197
売上原価	90,715,223	98,910,964
売上総利益	17,398,416	18,724,233
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,260,472	1,208,440
給料及び手当	4,835,552	5,144,310
退職給付費用	181,998	182,121
減価償却費	310,649	364,471
貸倒引当金繰入額	△13,184	1,264
賃借料	2,985,815	3,274,701
その他	4,808,573	4,937,086
販売費及び一般管理費合計	14,369,878	15,112,395
営業利益	3,028,538	3,611,837
営業外収益		
受取利息	9,075	7,724
受取配当金	25,644	26,263
持分法による投資利益	152,979	363,065
為替差益	8,737	-
その他	49,196	57,199
営業外収益合計	245,633	454,252
営業外費用		
支払利息	45,443	71,878
支払手数料	9,109	7,746
為替差損	-	34,165
その他	14,382	5,186
営業外費用合計	68,935	118,978
経常利益	3,205,237	3,947,112
特別利益		
固定資産売却益	1,017	797
ゴルフ会員権売却益	8,477	-
その他	222	170
特別利益合計	9,717	967
特別損失		
固定資産処分損	23,185	6,813
固定資産減損損失	-	163,498
子会社清算損	27,311	-
その他	500	34,228
特別損失合計	50,996	204,540
税金等調整前四半期純利益	3,163,958	3,743,538
法人税等	1,072,152	1,194,354
四半期純利益	2,091,805	2,549,183
非支配株主に帰属する四半期純利益	170,714	308,801
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,921,090	2,240,382

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	2,091,805	2,549,183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,761	56,885
繰延ヘッジ損益	148,835	△9,806
為替換算調整勘定	△495,027	△71,542
退職給付に係る調整額	15,495	11,692
持分法適用会社に対する持分相当額	△32,537	2,462
その他の包括利益合計	△354,471	△10,308
四半期包括利益	1,737,334	2,538,875
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,589,755	2,232,381
非支配株主に係る四半期包括利益	147,579	306,493

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	航空・空港関 連事業	ライフサービ ス事業	リテール事 業	フーズ・ピバ レッジ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	39,520,106	9,051,994	40,169,980	19,371,558	108,113,640	-	108,113,640
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,463	80,312	47,259	662,426	802,462	△802,462	-
計	39,532,569	9,132,306	40,217,240	20,033,985	108,916,102	△802,462	108,113,640
セグメント利益	610,532	702,234	1,981,639	968,432	4,262,838	△1,234,299	3,028,538

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,234,299千円には、セグメント間取引消去705千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,235,005千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	航空・空港関 連事業	ライフサービ ス事業	リテール事 業	フーズ・ビバ レッジ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	44,300,348	10,240,807	44,536,403	18,557,637	117,635,197	-	117,635,197
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,608	107,221	54,092	733,523	906,445	△906,445	-
計	44,311,957	10,348,029	44,590,495	19,291,161	118,541,643	△906,445	117,635,197
セグメント利益	555,995	875,128	2,711,167	752,156	4,894,447	△1,282,609	3,611,837

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,282,609千円には、セグメント間取引消去1,809千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,284,419千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結会計期間より、組織変更等に伴い、前連結会計年度まで「航空・空港関連事業」に分類していた印刷・用紙及び一部特殊車両・設備資材関連を「ライフサービス事業」に、「フーズ・ビバレッジ事業」に分類していた贈答用食品販売を「リテール事業」に移管しました。また、報告セグメントに帰属していなかった前連結会計年度新設部署（事業本部企画室等）を各報告セグメントに移管しています。以上のセグメント変更に伴い、各報告セグメントの前第3四半期連結累計期間の数値を当第3四半期連結累計期間の表示に合わせて組替再表示しています。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「フーズ・ビバレッジ事業」セグメントにおいて、固定資産減損損失を計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては163,498千円です。